ときの至手箱

～博物館からのメッセージ～

第282回

世界を知りたい ～万国人物図～

いよいよ日本でのオリンピックの年を迎えました。選手を始め、多くの海外の方々が来日し、私たちは、競技を直接見ることも、自宅に居ながらにして楽しむこともできます。

現代は、交通や通信の発達によって、こうした環境を享受できるわけですが、江戸時代の日本は、外国との交流はかなり限られていました。しかしそれでも、未知なる世界を知りたいという人々の欲求は強く、海外の情報はさまざまな形で広がっていきました。

江戸時代、その初期から、世界地図とそれに対応する民族の図譜が制作されました。中期の享保5年（1720年）には、長崎の天文地理学者の西川如見（1648～1724）が著した『四十二国人物図説（万国人物図）』が出版されました。如見は、将軍吉宗に招かれて天文学の質問に答えることもした高名な学者です。この本は、アジアをはじめ、ロシア、ヨーロッパ、アフリカ、南北アメリカなど、民族衣装をまとった42の国民ないし種族の画を解説入りであらわしたものです。世界の民族図譜が広く一般に普及する大きな役割を果たしました。

本の終わりに記された如見の跋文には、この本の画は、異国の絵師が描いた人物画を長崎の絵師が写して世に広まったもので、解説は、長崎の古老の談に基づいて書いた、とあります。長崎は、外国との交易の重要な窓口でした。

ここで紹介するのは、この本と同じ系統の作品で、巻物の形をしているものです（写真）。版ではなく肉筆画で、如見の版本とは順番や国名の表記が異なり、解説文は書かれていません。そして、見た目で大きく異なるのは、版本が単色なのに対し、この巻物は目が覚めるような鮮やかな極彩色という点です。

想像をたくましくすると、この巻物は、如見が本を著すにあたって参考にした、長崎の絵師が手がけた画にあたる可能性もあるでしょう。少なくとも、それに近い作品だと考えられます。アジアの人々が比較的平明に表現されているのに対し、ヨーロッパの人々は陰影が強くあらわされているのは、異国の絵師が描いたとされるオリジナルの画が異なるからでしょう。

興味深いことは、如見の版本が長い間大きな影響を与え続けたという点です。幕末に到るまで類似本が出版され、この本をもとに手描きの作品も制作されるなどしました。日本での異国の人々の一般的なイメージが、100年以上の長きにわたって大きく変わらなかったということになります。

その後、日本が開国し、一般の人が直接外国人と交流する機会が出来たことにより、新しい外国人像が形成されていったのです。

【彦根城博物館学芸員　髙木文恵】

▶万国人物図「大明」（今の中国）

▶万国人物図「オランダ」

巻物の万国人物図は、常設展示で、2月1日(土)～4月6日(月)の期間、展示します（3月4日(水)は休館）。長い巻物のため、公開部分はその一部です。

博物館だより

彦根城博物館☎22-6100・FAX22-6520
http://hikone-castle-museum.jp/

開館時間　8：30～17：00（入館は16：30まで）

特別公開

3月3日(火)まで

「雛と雛道具」

井伊家13代直弼の愛娘弥千代（やちよ）（1846～1927）の雛と大揃いの雛道具を、地元の旧家に伝来した古今雛や御殿飾りなどとともに一挙公開。春の訪れを告げる恒例の展示です。

テーマ展

3月7日(土)～4月7日(火)

「漆芸の精華 －江戸時代を中心に－」

漆を用いた装飾方法は、蒔絵（まきえ）や螺鈿（らでん）、彫漆（ちょうしつ）など極めて多彩で、特に江戸時代にはその技法が多様に展開しました。本展では漆で彩られた、調度、楽器、刀装、馬具など、多岐にわたる漆芸品を井伊家伝来品から紹介します。

▲我宿蒔絵硯箱

▶ギャラリートーク
3月7日(土)　11：00～11：30、14：00～14：30
事前申込：不要　場所：展示室1　※観覧料が必要

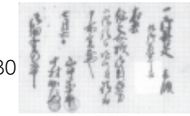
講座

講座　私の研究最前線

「彦根藩の武具制作とメンテナンス事情」

彦根城博物館の学芸員が、各自の研究テーマについて、日頃の研究の成果を踏まえて解説します。

①「彦根藩の御細工所」
日時　2月22日(土)
14：00～15：30
講師　渡辺 恒一


▲広小路御屋敷付人用状
細工奉行宛

②「足軽の武具」
日時　3月21日(土) 14：00～15：30
講師　北野 智也

【①②共通】
※会場は当館講堂、定員は60人です。
※資料代はいずれも100円です（中学生以下無料）。
※申込は当日受付（先着順）です。

■【休館日のお知らせ】3月4日(水)
■ 3月5日(木)・同6日(金)は、展示替えのため一部休室します。

【2月11日(火・祝)は開館33周年記念日！】観覧者にくじ引きで記念品を差し上げます（なくなり次第終了）。

チケット情報

ひこね市文化プラザ

3月7日(土) 14：00開始　第3研修室

大人のための文化芸術体験講座
～陶芸絵付け教室～
講師：手作り工房　種芸（野路井 邦充）

素焼きされた茶碗に鉄絵を描きます。
あなただけのオリジナル茶碗をつくろう。
また、陶芸の歴史などもお話しします。

【参加費】　500円　※当日支払い
【定員】　30人（先着順）（18歳以上）
【申込方法】　チケットセンター窓口、電話でお申し込みください。
【申込期間】　2月6日(木)～同29日(土)

5月6日（水・振）14：00　エコーホール

第11回エコーホールピアノメンバー演奏会
ア・ピアチェーレ！

エコーホールピアノメンバー登録者による演奏会を行います。フルコンサートピアノで奏でる素敵な音色をお楽しみください。

自由　入場無料
（入場整理券が必要です。ひこね市文化プラザチケットセンターにて配布）

申込・お問い合わせ先　チケットセンター
☎27-5200　(9:00～19:00)
チケットはインターネットでも購入いただけます。https://bunpla.jp/

2月の休館日　3日(月)、4日(火)、5日(水)、10日(月)、17日(月)、25日(火)
※4日(火)、5日(水)は、館内修繕のため臨時休館日とします。

3月27日(金) 18：30　グランドホール

特撰東西落語名人会 プレ公演
落語おもしろ講座
講師：三遊亭 楽大

東西落語名人会開催記念として、ベテランはもちろん落語初心者も、名人会をより深く楽しんでいただくためのおもしろ講座を開催します！
翌日の特撰東西落語名人会がより楽しめちゃうこと間違いなし！

自由【発売中】
一般　500円　友の会　400円
小学生以上　託児あり（有料・要予約）

みずほ文化センター

3月20日（金・祝）14：00　練習室

彦根亭
みずほ寄席vol.35
仲春の章（笑）

笑福亭鉄瓶

指定【発売中】
【前売】500円
【当日】600円
出演：笑福亭飛梅、笑福亭鉄瓶、ウッドランド・コンチェルト
小学生以上　託児あり（有料・要予約）

申込・お問い合わせ先　みずほ文化センター
☎43-8111（9:00～17:00）

2月の休館日　4日(火)、12日(水)、18日(火)、25日(火)

【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取り扱い】
※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。
※窓口でのチケット引き取り・販売は翌開館日から承ります。

◎表記の価格は全て税込価格です。
◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。
子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。